



下大和田谷津田だより



2004年12月号

第58回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

11月7日 晴れ

快晴で気持ちの良い谷津田の散策でした。

畦道はパタパタ音を立ててコバネイナゴがとび出しました。路々、衣服につく実の仕組みをルーペで見たり、林縁のサンショの実を一粒噛んでみたり、ヤナギタデの葉を味わったりしました。サンショは小粒でもびりりと辛い、タデ喰う虫も好き好き を実感しました。ムラサキシキブが林縁を飾っていました。林内ではカラタチバナが真赤に色づいていました。大塚さんの田んぼでは相変わらず水が湧いてメダカが泳いでいました。昼食時にはカワセミがおだの竹の先にとまったり、ハス池用に掘った池の水際に降りたりして盛んに鳴き騒いでいました。午後にはノスリの飛翔も見られました。林の中では12人も囲めるテーブルと腰掛けが完成、また、林棟梁のもと、春山さん、中村さんの臨時大工さんによって、瞬く間に「あずまや」が完成しました。

開花植物：カントウヨメナ、ユウガギク、シロヨメナ、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、メナモミ、ハキダメギク、タカサブロウ、コシロノセンダングサ、タウコギ、タイアザミ、セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、キツネノマゴ、シロツメクサ、カタバミ、イヌガラシ、ミゾソバ、イヌタデ、ヤナギタデ、チジミザサ、オギ、ヨシ。

昆虫：ヤマトシジミ、セイヨウミツバチ、コバネイナゴ、オオアオイトトンボ、コカマキリ、アカタテハ、モンシロチョウ、ナナホシテントウ、

野鳥ほか：ヒヨドリ、ウグイス、アオジ、モズ、カワラヒワ、ジョウビタキ、カワセミ、ノスリ、カケス、ハシブトガラス、スズメ。ナガコガネグモ、ジョロウグモ、カナヘビ、ニホンアカガエル、ウスカワマイマイ、メダカ、フナ、ザリガニ、カワニナ、マルタニシ、オオタニシ。

(参加者：大人5人、子ども1人；報告：網代春男)

第41回谷津田プレラント・プロジェクト(YPP)

「ネーチャークラフト」

11月21日 晴れ

気持ちよく晴れ渡った谷津田でネーチャークラフトを楽しみました。最初に田んぼや林を散策して素材さがし。ドングリ、あけびや藤のつる、木の枝やきれいに色づいた葉っぱや実などを拾い集めました。いつものワイワイ広場に戻って思い思いに作品づくりをしました。つるかご編み、どんぐりトトロ、稲ワラを使った縄ないとリースづくり、むしる編み、草木染めと、様々なクラフトができあがり、みんな満足。ちょっと技を覚えたり、工夫したりするだけで、素敵なオブジェが作れます。子どもたちはクラフトを楽しんだ後、日が傾くまで田んぼや林の中で遊んでいました。

(参加者：大人19人・小学生7人・乳幼児3人、報告：高山邦明)

下大和田季節のたより

11月3日 古代米の稲刈り。大人14人、子ども11人が集まってくれました。今年はスズメにかなり食べられてしまい、一部の田んぼは刈るのをあきらめたほどです(高山)。

11月16日 シジミチョウ仲間のムラサキツバメがムラサキシジミと一緒に椿の葉で日光浴をしていました。ムラサキツバメは下大和田では初めて見ました。ナガサキアゲハと同様に北上が進んでいる蝶で千葉市周辺でも今年は目撃情報をいくつか聞いています。少なくなっていると、心配していたアキアカネはたくさんいてホッとしました(網代)。

11月21日 田んぼの中にある湧き水の周りにたくさんのメダカが集まっていました。モズやジョウビタキのさえずり、枯れた草原からはたくさんのアオジの地鳴きが聞こえてきます(高山)。

11月27日 空を舞うオオタカ、メダカ田んぼの排水口で狩りをするカワセミ、今年作った池で魚をとっているダイサギの姿が見られました(田中)。

21日のYPPの時に稲を干したオダを片づけました。3年間放置していた田んぼの復田、セルカリヤに悩まされた田植え、暑かった夏の草取り、雨の中のかかし作り、過去最高の参加者に恵まれた稲刈りと今年の米づくりが思い出されます。来年はああしよう、こうしたいと早くも次の話が出てきました。オダがなくなった田んぼはすっきり。「今年もお疲れ様、春までゆっくりお休み！」と心の中で声をかけました。

高山邦明